

# 漏電継電器 LL-30D<sub>2</sub> 取扱説明書

## 仕様

定格制御電圧	AC100V/110V, AC200V/220V
定格周波数	50/60Hz
定格消費VA	5VA以下
取付方式	屋内埋込形
復帰方式	手動復帰/自動復帰 (機能設定スイッチで切替)
電流整定値	30-100-200-500-800 (mA)
動作時間整定値	0.1秒-0.3秒 (機能設定スイッチで切替)
出力接点	1a, 1c AC250V 2A (力率0.4)
動作表示	磁気反転式表示器 (押柄の電気信号復帰)
準拠規格	JIS C 8374

## 安全のために必ずお守りください。

取付け、配線工事、操作および保守、点検を行う前に、取扱説明書などをよくお読みの上、ご使用ください。

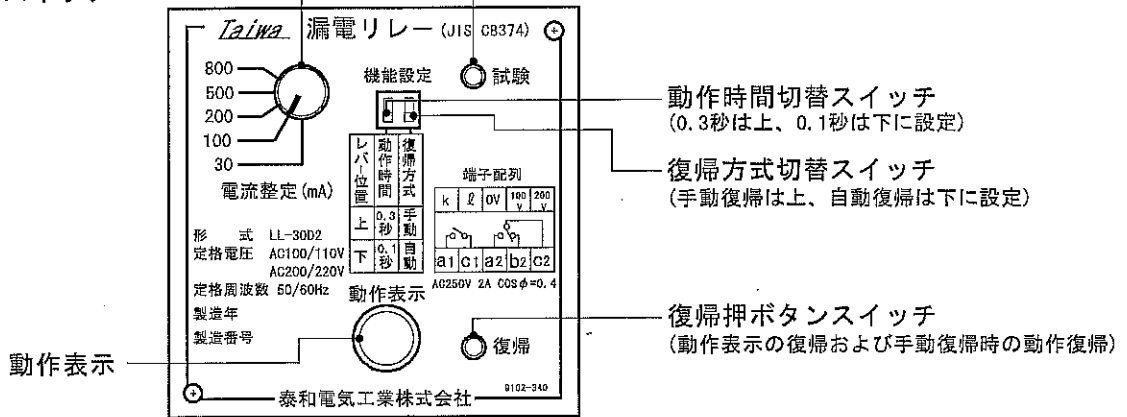
### 危険

### 感電のおそれがあります

- 取付け、取外し、配線作業および保守、点検は必ず電源を切って行ってください。感電および短絡による火傷のおそれがあります。
- 結線の際は、接続図および端子の記号を十分確認し、誤接続しないでください。誤接続した場合、感電したり、他の機器を破損するおそれがあります。
- 充電部（端子部分等）には触れないでください。

動作電流切替  
スイッチ

試験押ボタンスイッチ

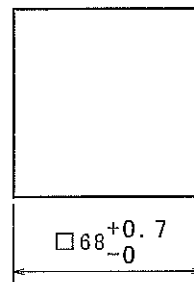
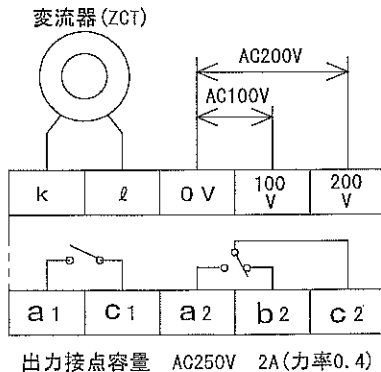


## 設置上の注意事項

1. 漏電リレーのZCTが大電流導体に接近していると、誤動作や感度電流が変動することがあります。大電流導体をZCTから、10cm以上離してください。
2. ZCTと漏電リレー間の配線は、他の制御電圧線から静電誘導を受けるので、30mA感度整定において3m以内にしてください。
3. 負荷機器や配電線の大地に対する静電容量が大きいときは、常時でも相当大きい電流が流れ、漏電リレーが動作することがあります。一般には多数の分岐回路をまとめて、1台の漏電リレーで保護を行わせる場合に発生します。  
このような場合には、動作電流や動作時間の変更をしなければなりません。分岐回路ごとに漏電リレーを設置すれば、このような問題は少なくなります。

## 外部接続図

## パネルカット図



漏電継電器試験成績書			
形式	LL-30D <sub>2</sub> 形	試験日	年 月 日
製造番号		周囲温度	°C
定格	AC100V/110V, AC200V/220V 50/60Hz	承認者	試験者
整定範囲	動作電流値 30-100-200-500-800(mA) 動作時間 100-300(ms)		

試験項目	管理値	結果
1. 外観・構造検査	外観・構造に異常がないこと	⊙良
2. 動作電流値	零相変流器(ZCT)の一次側に電流を徐々に流して動作する値を測定する。 動作値: 整定値の50%を越え100%以下の範囲	⊙良
3. 不動作電流値	零相変流器(ZCT)の一次側に整定値の50%の電流を流して動作しないこと	⊙良
4. 動作時間	零相変流器(ZCT)の一次側に整定値に等しい電流を急激に流して動作する時間を測定する。 動作時間: 整定値の時間以内	⊙良
5. 絶縁抵抗試験	充電部一括とケース間: DC500Vにて10MΩ以上 (ただしk、lを除く)	⊙良
6. 耐電圧	充電部一括とケース間: AC1500V 1分間 (ただしk、lを除く)	⊙良
7. 備考		